

県内の景気動向

概況（2021 年 8 月）

景気は、後退している

観光関連では、入域観光客数は低水準での推移が続く

消費関連では、百貨店売上高は低水準での推移が続く

消費関連は新型コロナウイルスの影響で弱含んでいること、建設関連は住宅関連などの民間工事に一服感みられ弱含んでいること、観光関連は新型コロナウイルスの影響で悪化しており、県内景気は後退している（8 カ月連続）。

消費関連

百貨店売上高は、緊急事態宣言再延長や大型商業施設への土日祝日の休業要請による客数減少が続き、3 カ月連続で前年を下回った。スーパー売上高は、大型商業施設の土日祝日の休業要請や営業時間短縮による集客減、緊急事態宣言再延長による消費マインド低下などにより衣料品、住居関連が減少したことから既存店ベースでは6 カ月連続で前年を下回った。全店ベースは2 カ月ぶりに前年を下回った。新車販売台数は、世界的な半導体不足に加え、新型コロナウイルスの影響で海外からの部品調達が滞り、新車の生産が停滞したことなどにより前年を下回った。電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売でエアコン、白物・電子レンジなどが減少したことなどから3 カ月連続で前年を下回った。

先行きは、新型コロナウイルスの影響により引き続き不透明感はあるものの、緊急事態宣言解除による消費マインド向上が見込まれ、持ち直しに向かうことが期待される。

建設関連

公共工事請負金額は、市町村は減少したが、国、県、独立行政法人等・その他は増加したことから、3 カ月ぶりに前年を上回った。建築着工床面積（7 月）は、非居住用は減少したものの、居住用は増加したことから4 カ月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数（7 月）は、分譲、給与は減少したが、持家、貸家は増加したことから6 カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は減少したものの、公共工事は増加したことから3 カ月ぶりに前年を上回った。建設資材関連では、セメントは14 カ月連続で前年を下回り、生コンは14 カ月連続で前年を下回った。鋼材は鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により一部で単価の上昇がみられるものの、分譲住宅など民間工事の引き合いが弱いことなどから売上高は前年を下回り、木材は需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから前年を上回った。

先行きは、民間工事に再開の動きがみられるものの、一部の資材価格が上昇していることなどから弱含むとみられる。

観光関連

入域観光客数は、2 カ月ぶりに前年を上回った。国内客が増加し、外国客は引き続き0 人となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高は2 カ月ぶりに前年を上回り、宿泊収入は2 カ月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は3 カ月連続で前年を下回った。ゴルフ場は、入場者数は3 カ月ぶりに前年を上回り、売上高は2 カ月ぶりに前年を上回った。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の継続による人的移動制限の影響で、全般的に低調な動きとなった。

先行きは、世界各国で新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるものの、日本入国時の水際対策措置継続により、外国客が動き出すのは時間を要しよう。国内においてはワクチン接種が進んでいること、新型コロナウイルス感染者数の減少により、人的制限措置が緩和されることから、徐々に回復することが期待される。

雇用関連

新規求人数（7月）は、前年同月比 4.9%増となり 4 カ月連続で前年を上回った。宿泊業・飲食サービス業や製造業などで増加した。有効求人倍率（7月、季調値）は 0.84 倍と、前月より 0.04 ポイント下落した。完全失業率（7月、季調値）は 4.5%と、前月より 0.8%ポイント悪化した。

その他

消費者物価指数（7月）は、交通・通信などの下落により前年同月比 0.1%減と 4 カ月連続で前年を下回った。

企業倒産は、1975 年の集計開始以来 4 度目の発生なしとなり、前年同月を 2 件下回った。負債総額は前年同月が 1 億 8,200 万円で、全減となった。

りゅうぎん調査（2021年8月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2021.6－2021.8)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	▲ 13.7	▲ 23.7
(2) スーパー(既存店)(金額)	▲ 4.1	▲ 3.7
(3) スーパー(全店)(金額)	▲ 3.8	▲ 2.4
(4) 新車販売(台数)	▲ 10.5	▲ 10.3
(5) 電気製品卸売(金額)	▲ 16.8	▲ 16.9
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	17.2	▲ 3.1
(2) 建築着工床面積(m ²)	(7月) 2.2	(5-7月) ▲ 20.3
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(7月) 0.6	(5-7月) ▲ 10.3
(4) 建設受注額(金額)	P8.9	P▲3.0
(5) セメント(トン数)	▲ 19.5	▲ 29.1
(6) 生コン(m ³)	▲ 21.0	▲ 28.7
(7) 鋼材(金額)	P▲10.1	P▲13.0
(8) 木材(金額)	6.2	3.0
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	42.1	12.4
うち外国客数(人数)	0.0	0.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P1.9 (実数) P21.4	(前年同期差) P▲1.0 (実数) P18.2
(3) "売上高(金額)	P0.2	P▲7.4
(4) 観光施設入場者数(人数)	▲ 53.6	▲ 69.8
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	27.8	2.0
(6) "売上高(金額)	20.6	0.7
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(7月) 4.9	(5-7月) 6.6
(2) 有効求人倍率(季調値)	(7月、実数) 0.84	(5-7月、実数) 0.85
(3) 消費者物価指数(総合)	(7月) ▲ 0.1	(5-7月) ▲ 0.4
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 0	(前年同期差) ▲ 5
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(7月) 8.5	(5-7月) 13.8

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2019年8月より調査先を25ホテルから28ホテルとした。

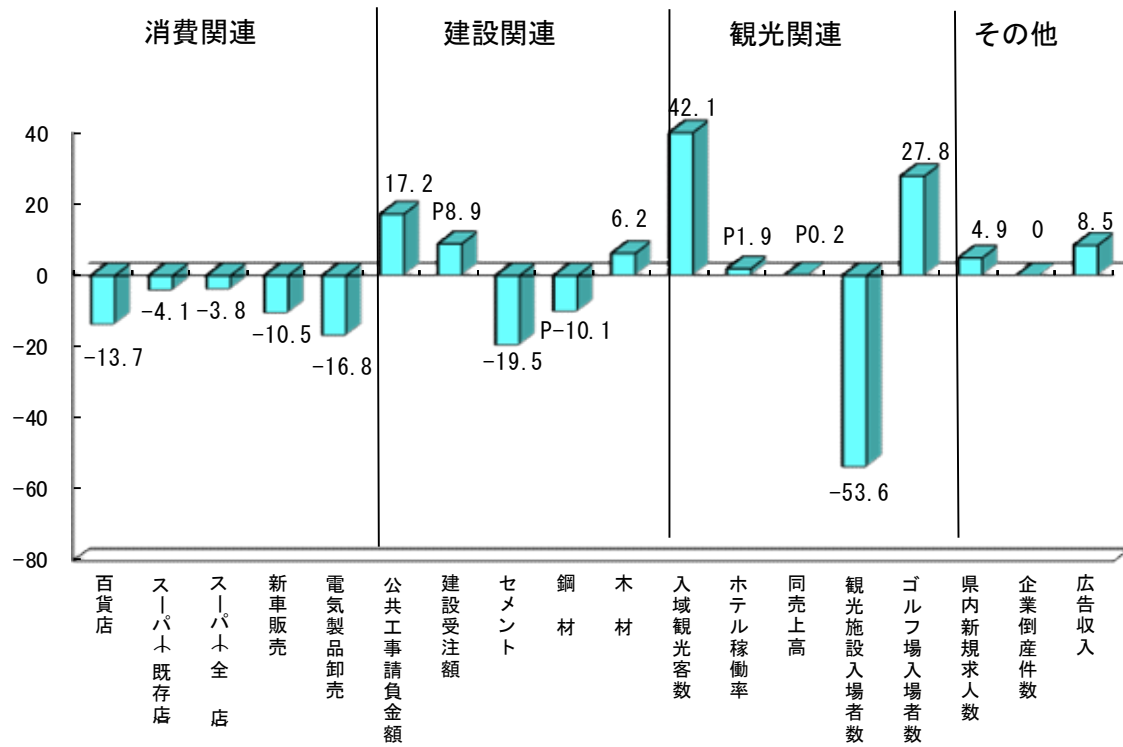
(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

(注6) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

(注7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

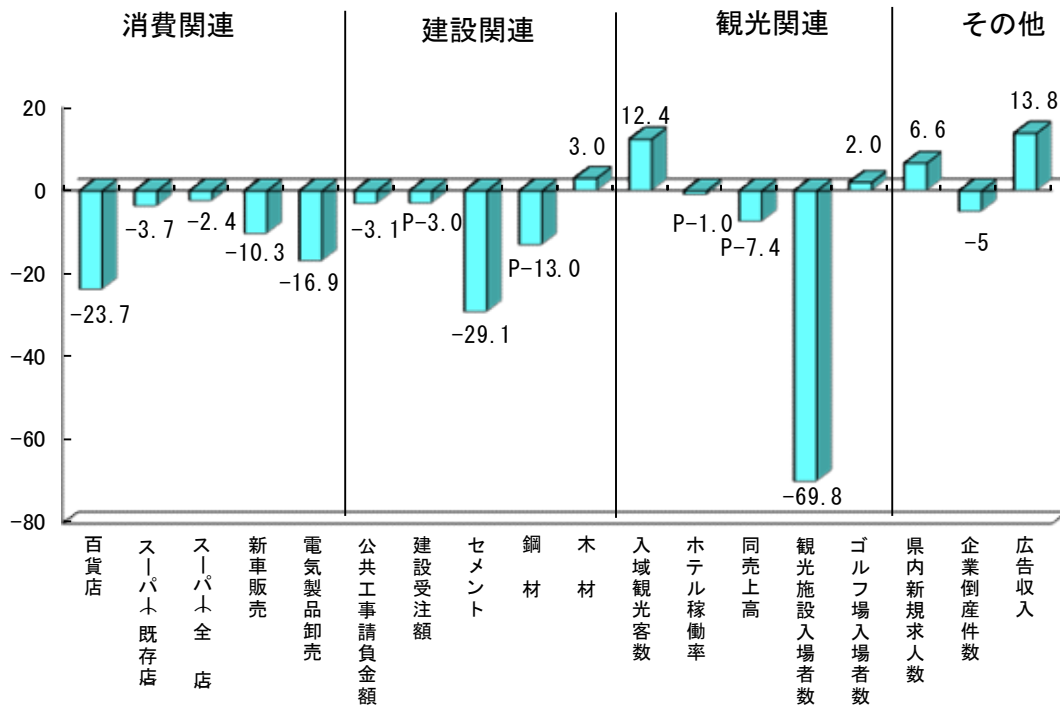
(注8) ゴルフ場は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

項目別グラフ(単月、2021年8月)



(注) 広告収入は21年7月分。数値は前年比(%)。Pは速報値。
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

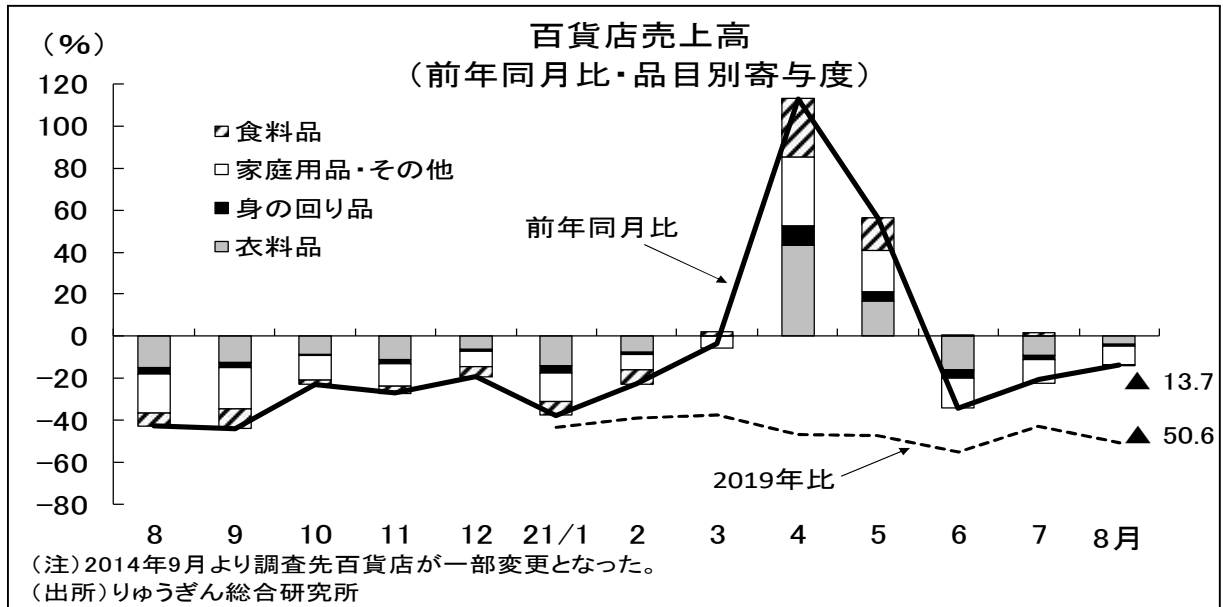
項目別グラフ(3カ月、2021年6月～2021年8月)



(注) 広告収入は21年5月～21年7月分。数値は前年比(%)。
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

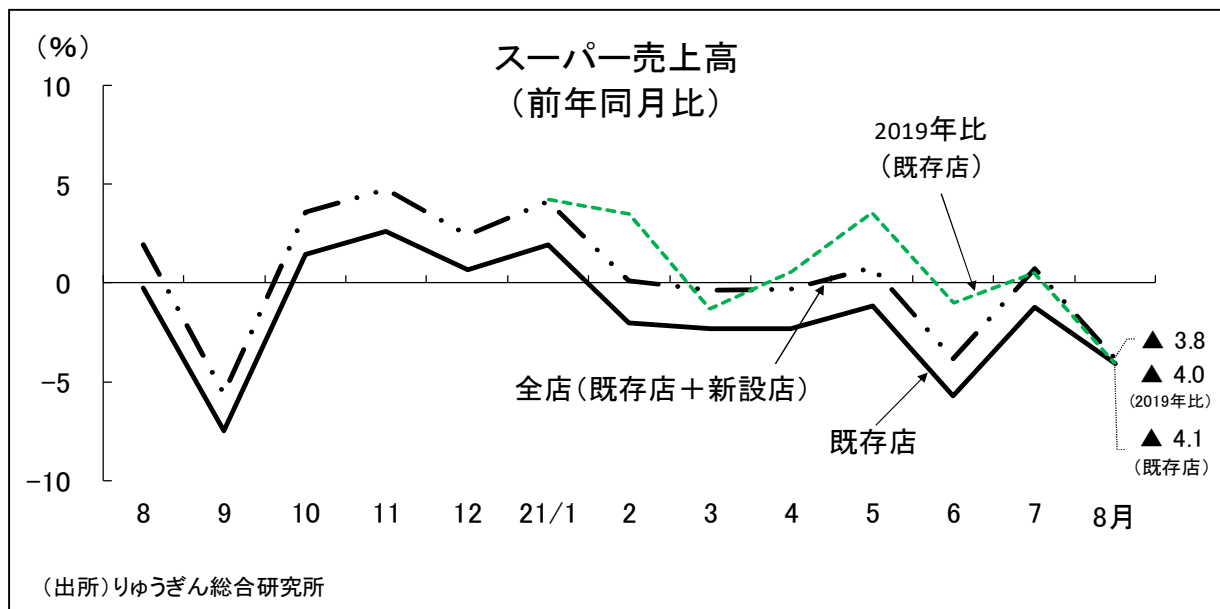
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：3カ月連続で減少



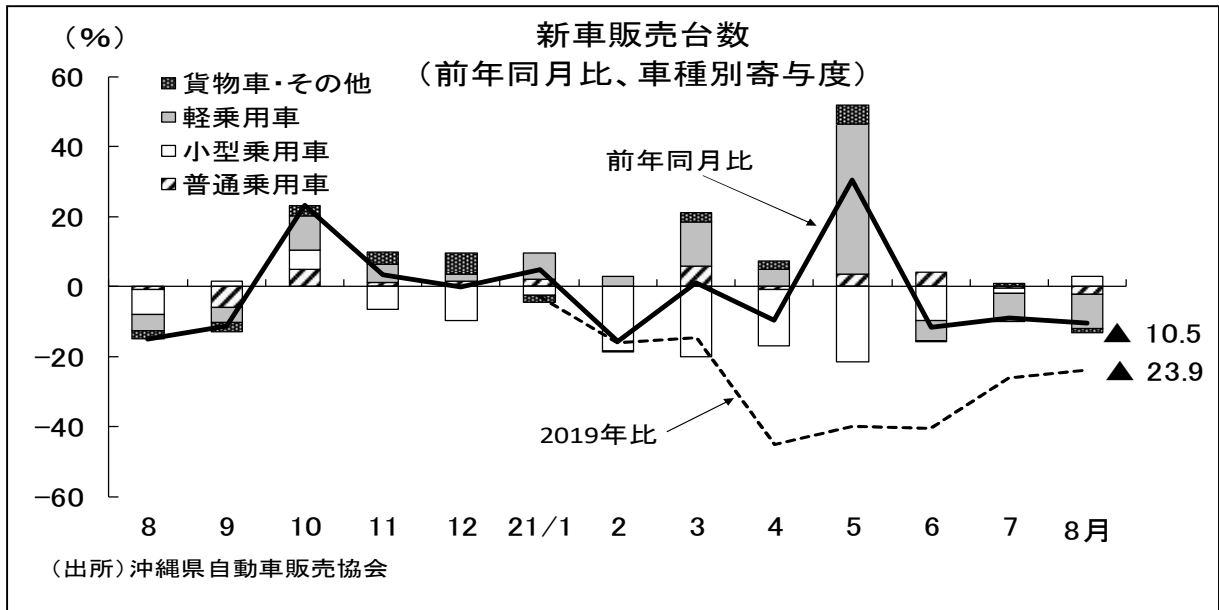
- 百貨店売上高は、緊急事態宣言再延長や大型商業施設への土日祝日の休業要請による客数減少が続き、前年同月比 13.7%減と 3 カ月連続で前年を下回った。
- 品目別にみると、食料品 (同 0.9%減)、家庭用品・その他 (同 27.4%減)、身の回り品 (同 12.4%減)、衣料品 (同 16.5%減) が減少した。
- 新型コロナ以前の 2019 年と比較した伸び率は 50.6%の減少となった。

(2) スーパー売上高：全店ベースは 2 カ月ぶりに減少



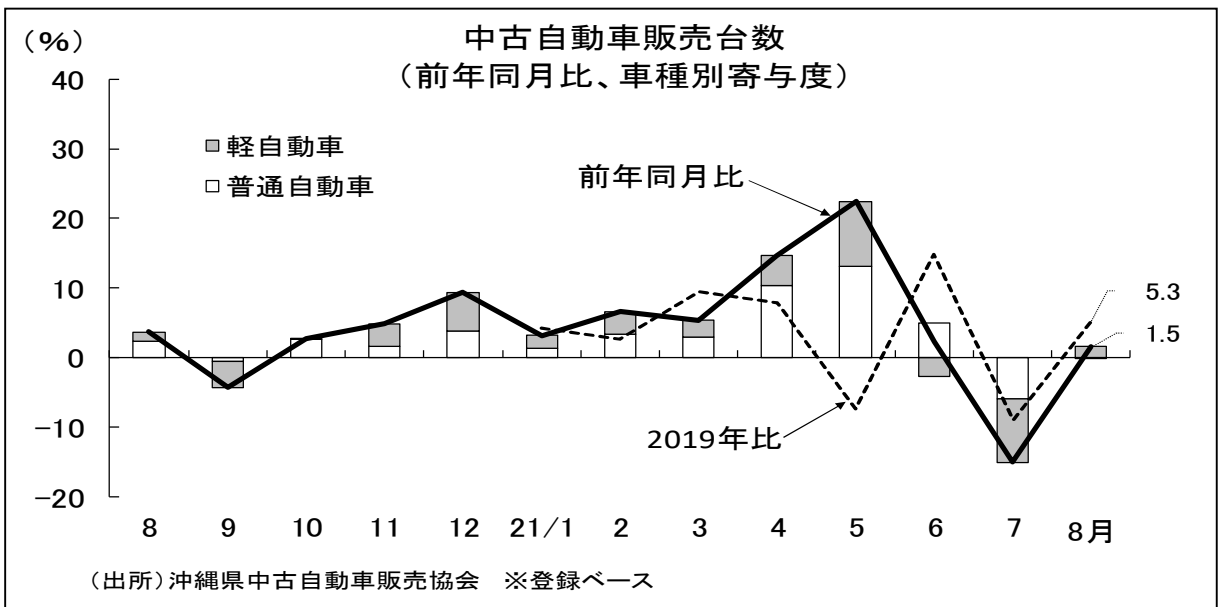
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 4.1%減と 7 カ月連続で前年を下回った。
- 食料品は、緊急事態宣言発令による巣ごもり需要の高まりがみられた前年同月の反動により同 2.9%減となった。衣料品は、大型商業施設への土日祝日の休業要請や営業時間短縮による集客減、緊急事態宣言再延長による消費マインド低下などにより同 10.8%減、住居関連は同 9.5%減となった。
- 全店ベースでは、同 3.8%減と 2 カ月ぶりに前年を下回った。
- 新型コロナ以前の 2019 年と比較すると、既存店ベースでは 4.0%の減少となった。

(3) 新車販売台数：3カ月連続で減少



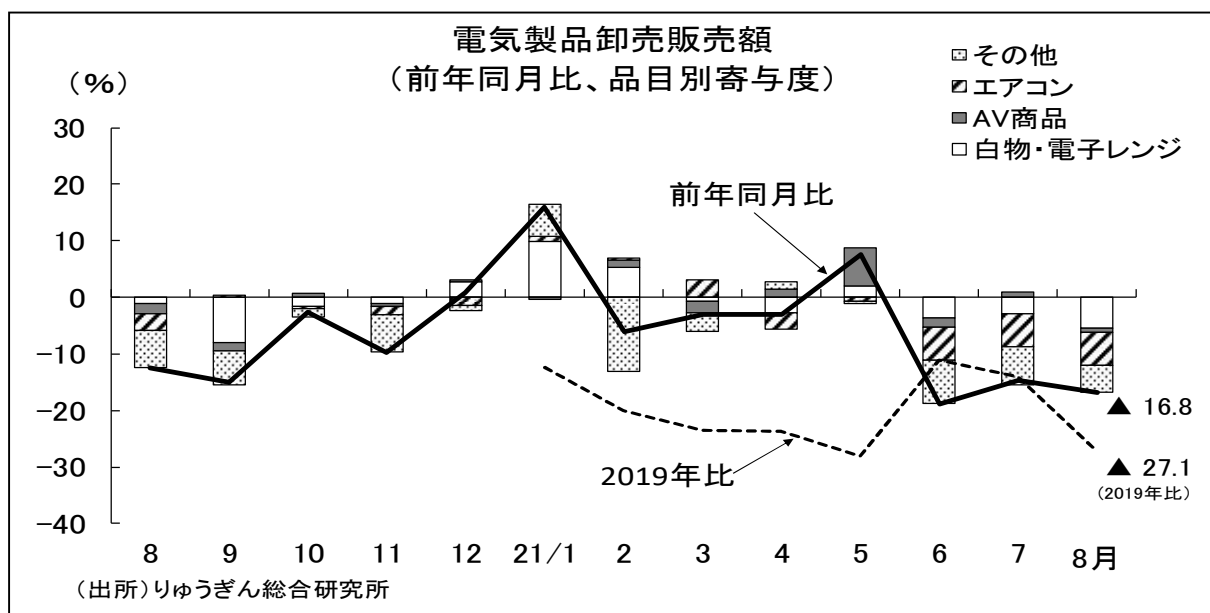
- ・ 新車販売台数は2,996台で前年同月比10.5%減と3カ月連続で前年を下回った。世界的な半導体不足に加え、新型コロナウイルスの影響で海外からの部品調達が滞り、新車の生産が停滞したことなどにより前年を下回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は1,424台（同0.2%減）で、うち普通乗用車は447台（同14.9%減）、小型乗用車は812台（同13.1%増）であった。軽自動車（届出車）は1,572台（同18.1%減）で、うち軽乗用車は1,201台（同21.1%減）であった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、23.9%の減少となった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：2カ月ぶりに増加



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万9,654台で前年同月比1.5%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は7,877台（同0.3%減）、軽自動車は1万1,777台（同2.7%増）となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、5.3%の増加となった。

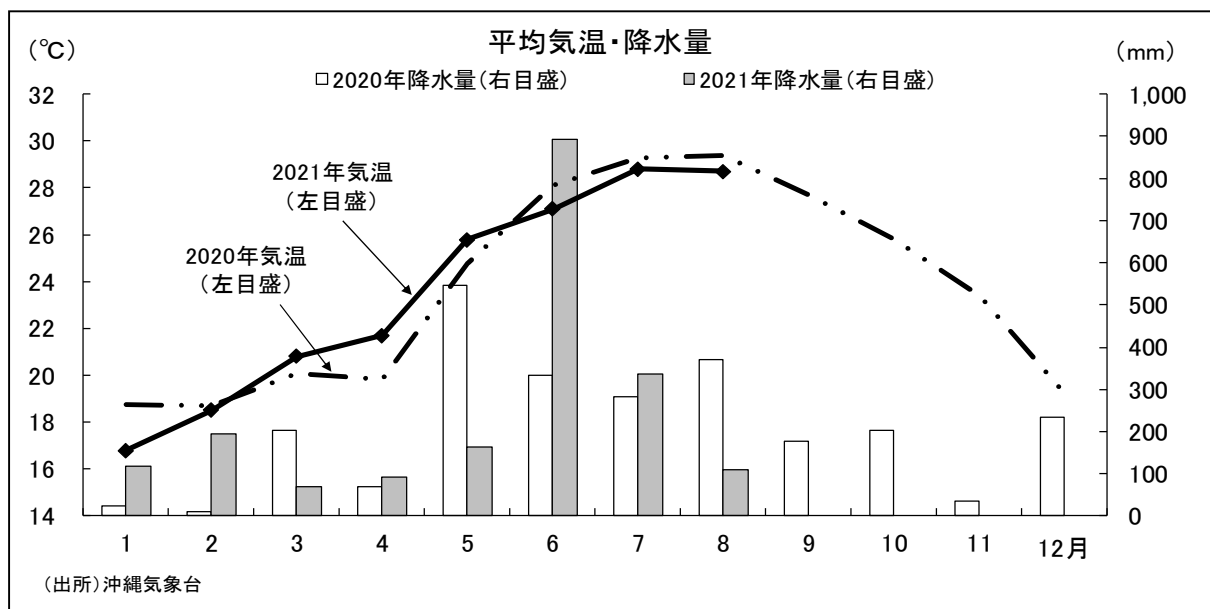
(5) 電気製品卸売販売額：3カ月連続で減少



- ・ 電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売でエアコン、白物・電子レンジなどが減少したことなどから、前年同月比 16.8%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 品目別にみると、AV商品ではテレビが同 2.3%減、BDレコーダーが同 28.8%減、エアコンが同 26.2%減、白物では冷蔵庫が同 42.3%減、洗濯機が同 15.5%増、その他は同 12.3%減となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、27.1%の減少となった。

(参考)

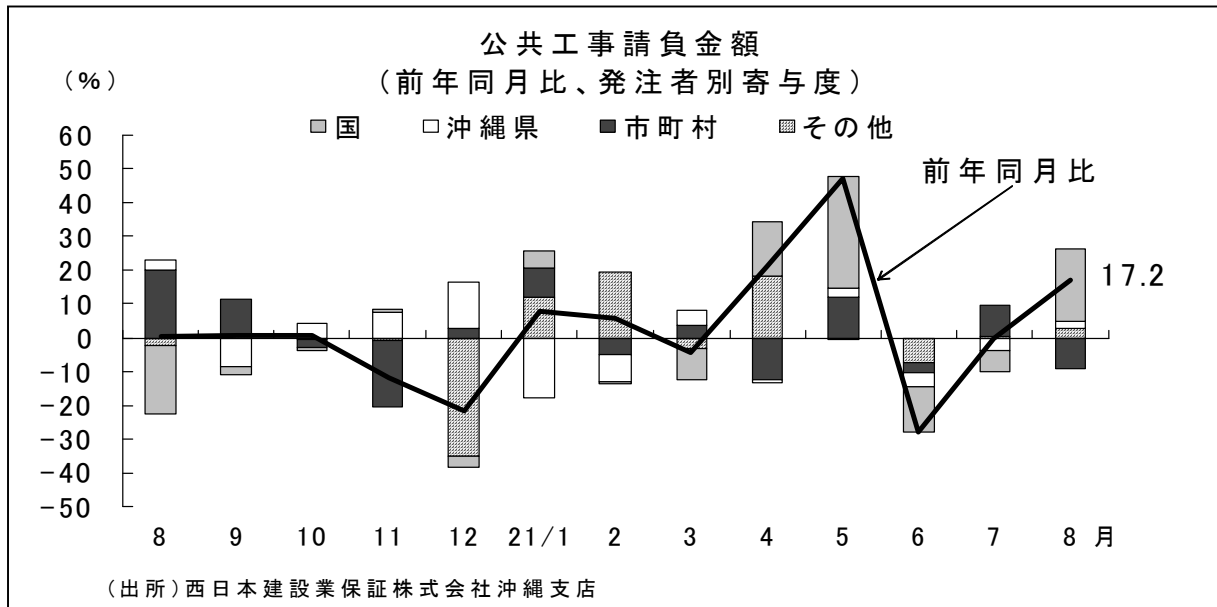
◇ 気象：平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は 28.7℃となり、前年同月 (29.4℃) より低く、平年 (29.0℃) より低かった。降水量は 109.5mmで前年同月 (370.0mm) より少なかった。
- ・ 太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、熱帯低気圧や台風第9号、第10号、第12号の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。平均気温は平年より低く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年並みとなった。

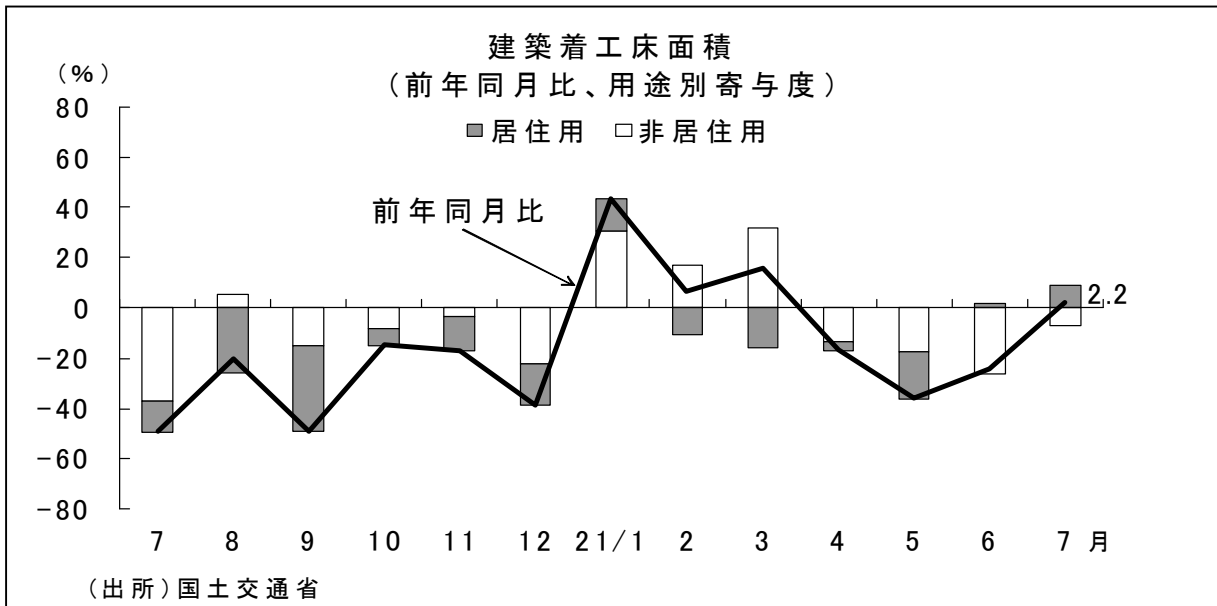
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月ぶりに増加



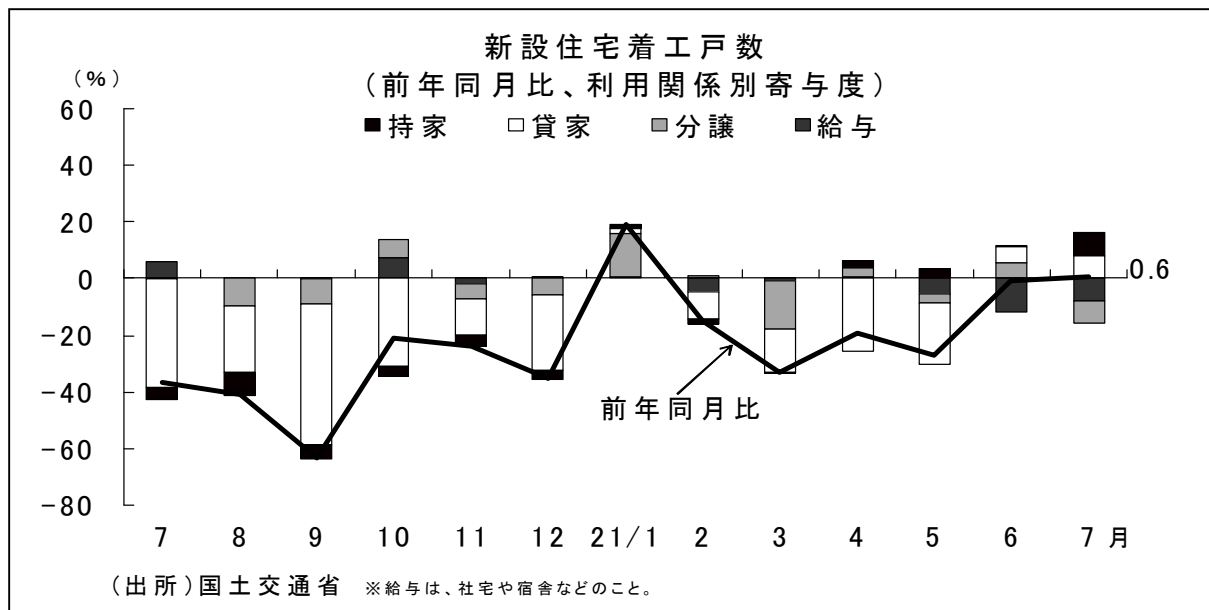
- ・ 公共工事請負金額は、355 億 6,231 万円で、市町村は減少したが、国、県、独立行政法人等・その他は増加したことから前年同月比 17.2%増となり、3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 発注者別では、国（同 76.2%増）、県（同 9.3%増）、独立行政法人等・その他（同 172.3%増）は増加し、市町村（同 18.7%減）は減少した。

(2) 建築着工床面積：4カ月ぶりに増加



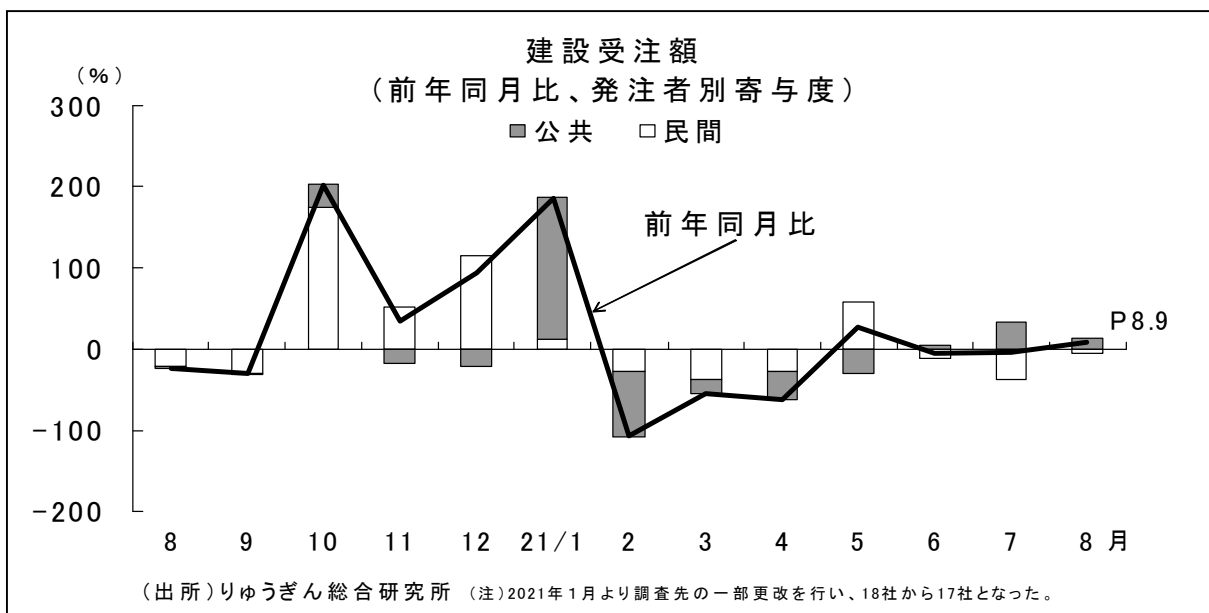
- ・ 建築着工床面積（7月）は12万8,523㎡となり、非居住用は減少したものの、居住用は増加したことから前年同月比 2.2%増と4カ月ぶりに前年を上回った。用途別では、居住用は同 17.2%増となり、非居住用は同 14.2%減となった。
- ・ 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに増加した。非居住用では、運輸業用などが増加し、公務用や飲食店・宿泊業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：6カ月ぶりに増加



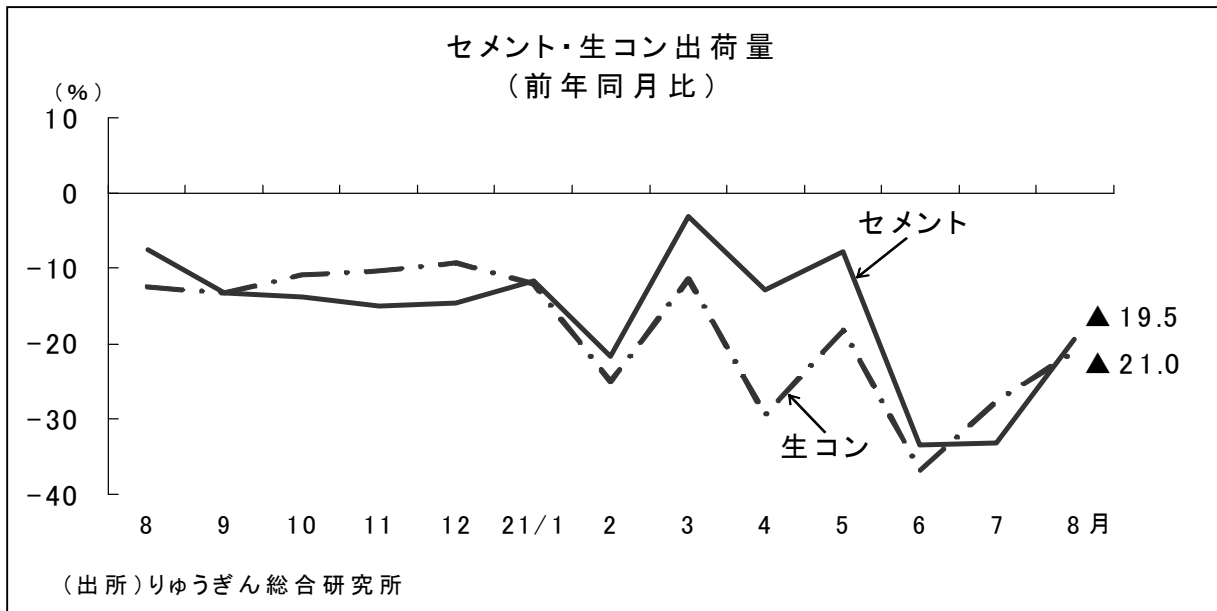
- ・ 新設住宅着工戸数（7月）は901戸となり、分譲、給与は減少したが、持家、貸家は増加したことから前年同月比0.6%増と6カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、持家（239戸）が同44.8%増、貸家（521戸）が同15.5%増と増加し、分譲（131戸）が同33.5%減、給与（10戸）が同88.0%減と減少した。

(4) 建設受注額：3カ月ぶりに増加



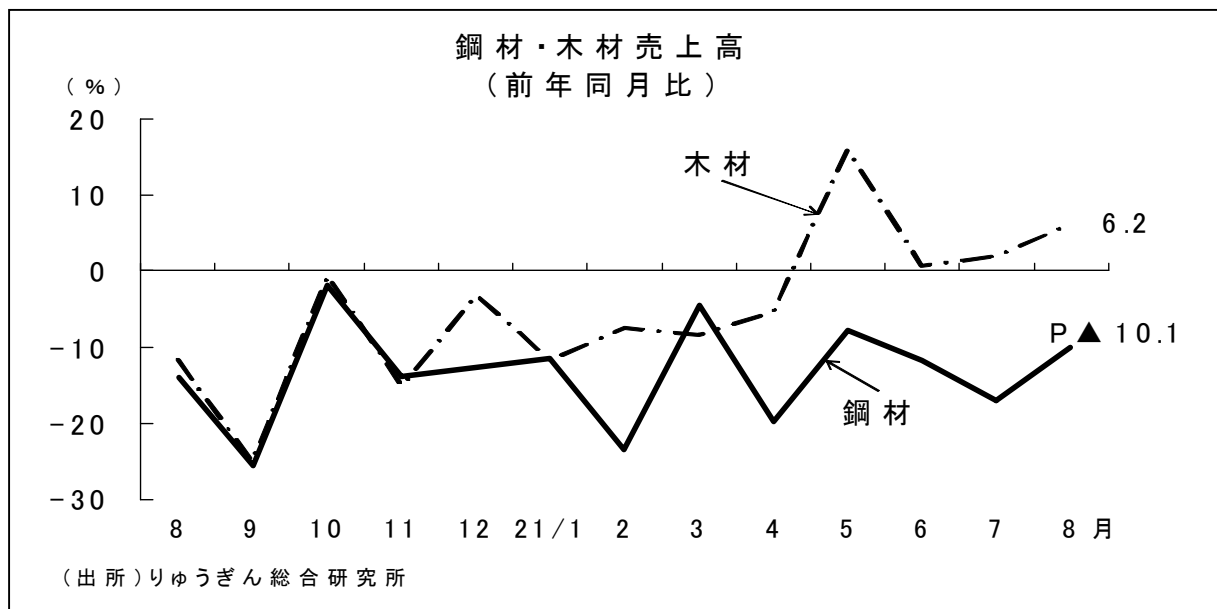
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社、速報値）は、民間工事は減少したものの、公共工事は増加したことから、前年同月比8.9%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同25.0%増）は3カ月連続で増加し、民間工事（同12.0%減）は3カ月連続で減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは14カ月連続で減少、生コンは14カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は5万9,513トンとなり、前年同月比19.5%減と14カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は9万1,910 m³で同21.0%減となり、14カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公営住宅向けなどが増加し、防衛省向けや学校関連向けなどが減少した。民間工事では、一般土木向けなどが増加し、宿泊施設向けや分譲マンション向けなどが減少した。

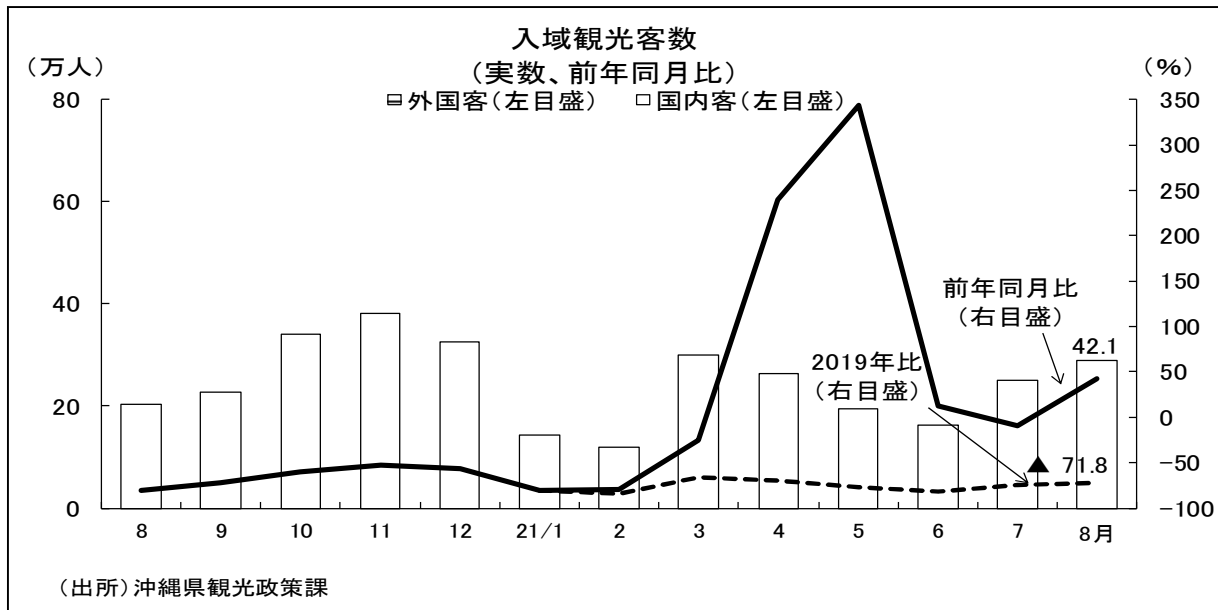
(6) 鋼材・木材：鋼材は23カ月連続で減少、木材は4カ月連続で増加



- ・ 鋼材売上高（速報値）は、鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により一部で単価の上昇がみられるものの、分譲住宅など民間工事の引き合いが弱いことなどから前年同月比10.1%減と23カ月連続で前年を下回った。
- ・ 木材売上高は、需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから同6.2%増と4カ月連続で前年を上回った。

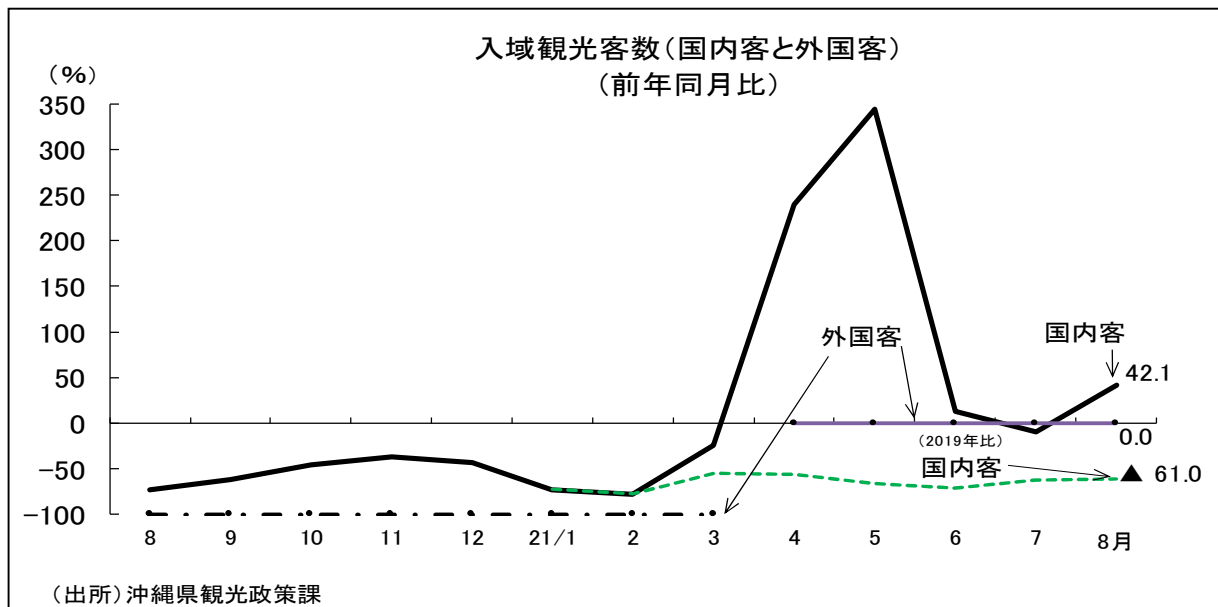
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：2カ月ぶりに増加



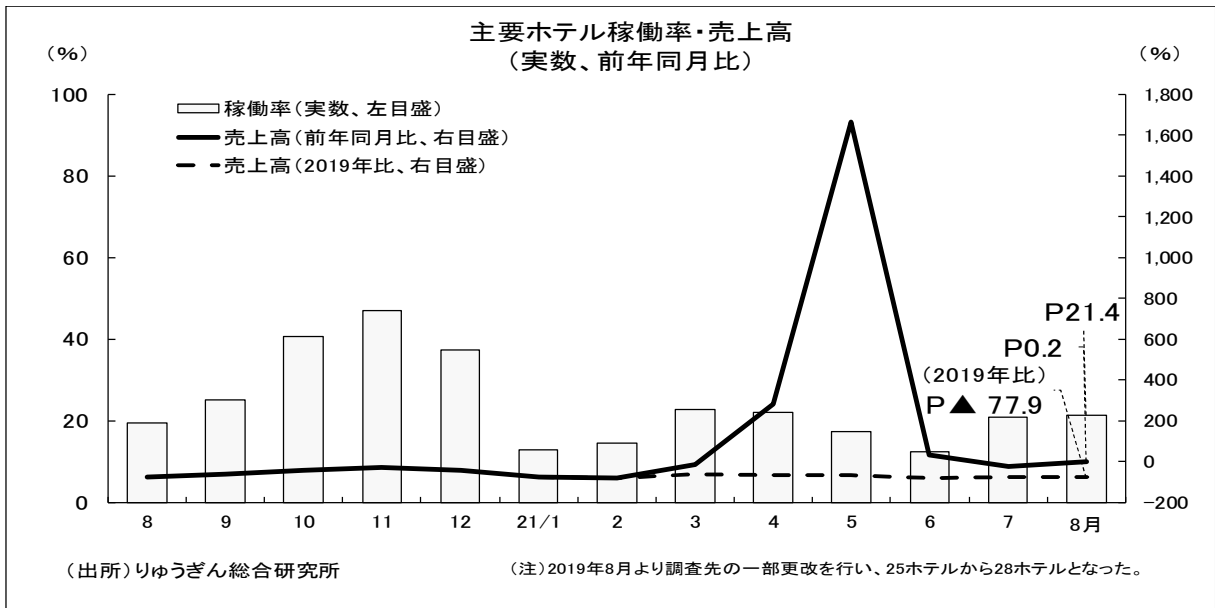
- 入域観光客数は、28万8,200人(前年同月比42.1%増)となり、2カ月ぶりに前年を上回った。
- 路線別では、空路は28万7,100人(同41.9%増)となり2カ月ぶりに前年を上回った。海路は1,100人(同120.0%増)となり3カ月ぶりに前年を上回った。
- 沖縄県や一部地域において緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用が継続されており低調な動きであったが、航空路線での夏季期間の増便等があったこと、また前年は沖縄県独自の緊急事態宣言が発出されていた反動で前年同月を上回った。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は71.8%の減少となった。

(2) 入域観光客数(国内客、外国客)：国内客は増加、外国客は17カ月連続で0人



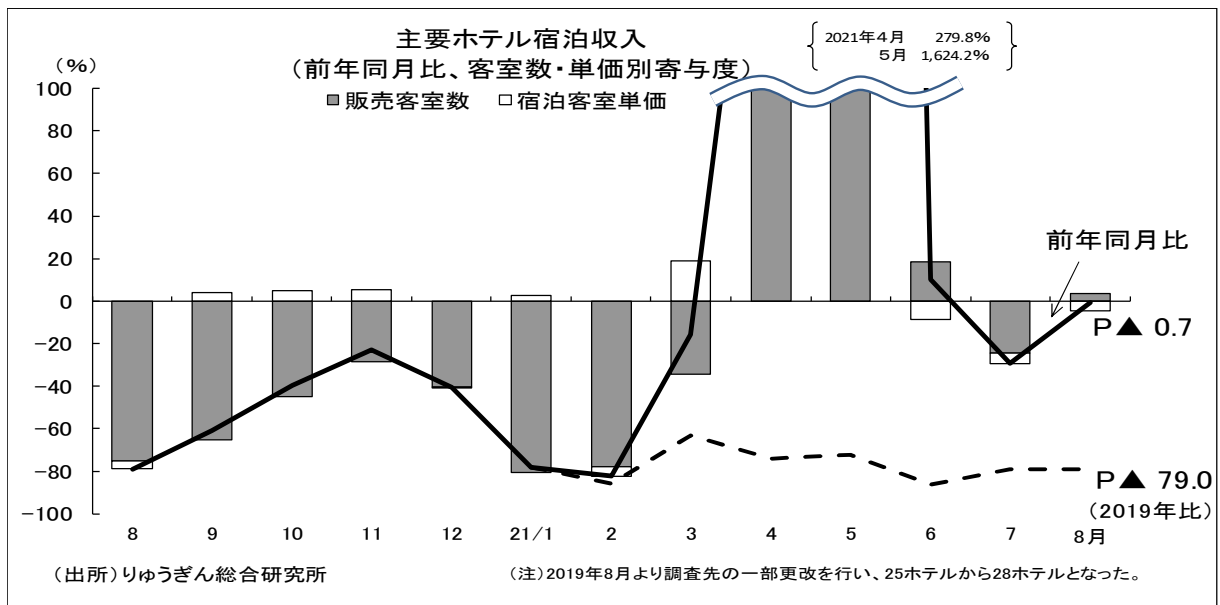
- 国内客は、28万8,200人(前年同月比42.1%増)となり、2カ月ぶりに前年を上回った。
- 外国客は、2020年4月以降17カ月連続で0人となった。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、国内客は61.0%の減少、外国客は全減となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率、売上高ともに2カ月ぶりに増加



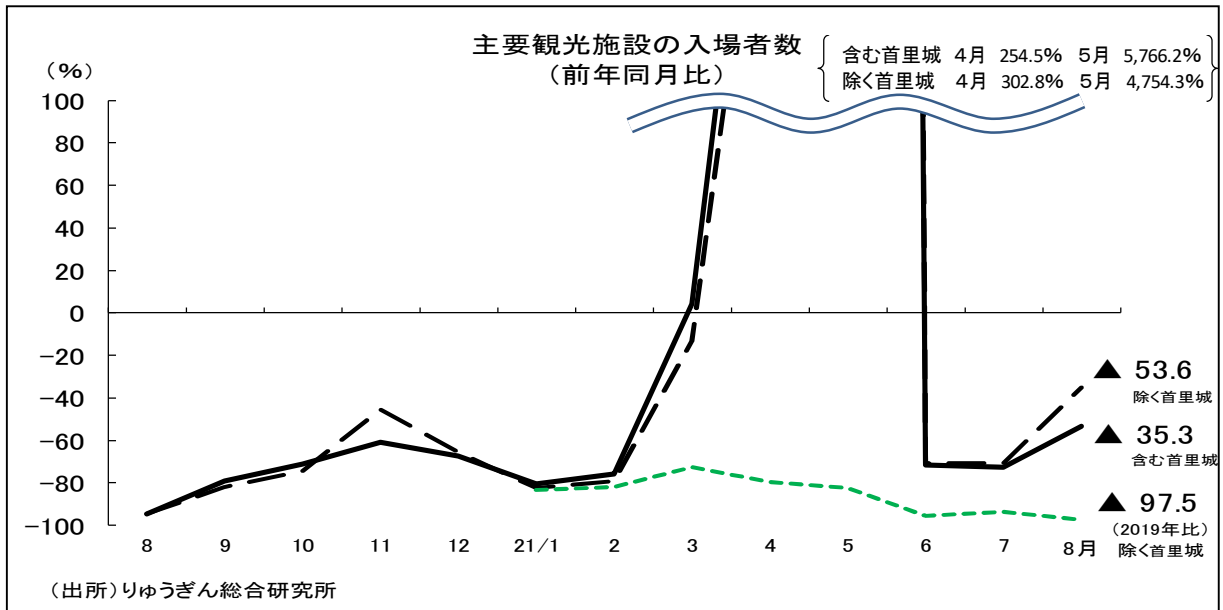
- 主要ホテル(速報値)は、客室稼働率は21.4%と前年同月差1.9%ポイント上昇、売上高は前年同月比0.2%増となり、稼働率、売上高ともに2カ月ぶりに前年を上回った。那覇市内ホテルの客室稼働率は21.2%と同2.1%ポイントと2カ月ぶりに上昇、売上高は同25.5%減と2カ月連続で減少した。リゾート型ホテル(速報値)の客室稼働率は22.4%と同1.8%ポイント上昇、売上高は同3.7%増と、稼働率、売上高ともに2カ月ぶりに前年を上回った。夏季休暇の繁忙期であるが、緊急事態宣言等の人的移動制限が継続され低調な動きとなった。新型コロナ以前の2019年と比較した売上高は、全体は77.9%の減少、那覇市内ホテルは86.3%減少、リゾート型ホテルは76.5%減少となった。

(4) 主要ホテル宿泊収入：2カ月連続で減少



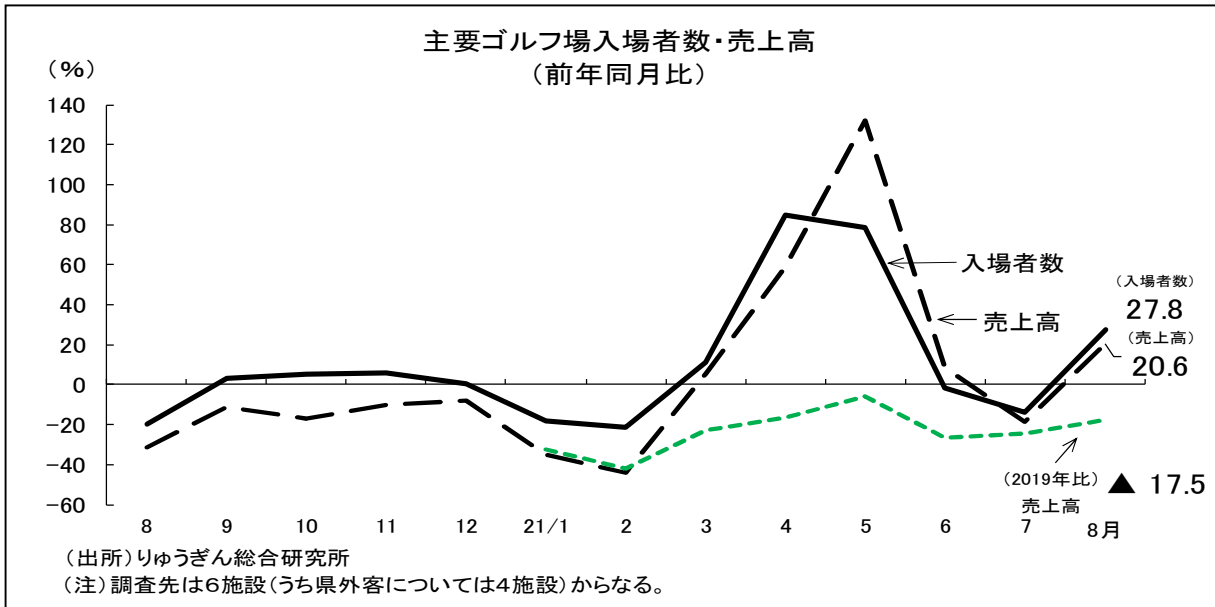
- 主要ホテル(速報値)売上高のうち宿泊収入は、販売客室数(数量要因)は増加、宿泊客室単価(価格要因)は減少し、前年同月比0.7%減と2カ月連続で前年を下回った。那覇市内ホテルの販売客室数は増加、宿泊客室単価は減少し、同23.7%減と2カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテル(速報値)は販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇し、同0.7%増と2カ月ぶりに前年を上回った。新型コロナ以前の2019年と比較した宿泊収入は、全体は79.0%の減少、那覇市内ホテルは87.3%減少、リゾート型ホテルは77.8%減少となった。

(5) 主要観光施設の入場者数：3カ月連続で減少



- ・ 主要観光施設の入場者数（除く首里城）は、前年同月比 53.6%減となり 3 カ月連続で前年を下回った。首里城を含むベースは、同 35.3%減と 3 カ月連続で前年を下回った。
- ・ 沖縄県や一部地域において緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が継続されたことにより、県立施設等が原則全面休館となったことが大きく影響した。
- ・ 新型コロナ以前の 2019 年と比較した入場者数は、首里城を除くベースは 97.5%の減少、首里城を含むベースは 96.4%減少となった。

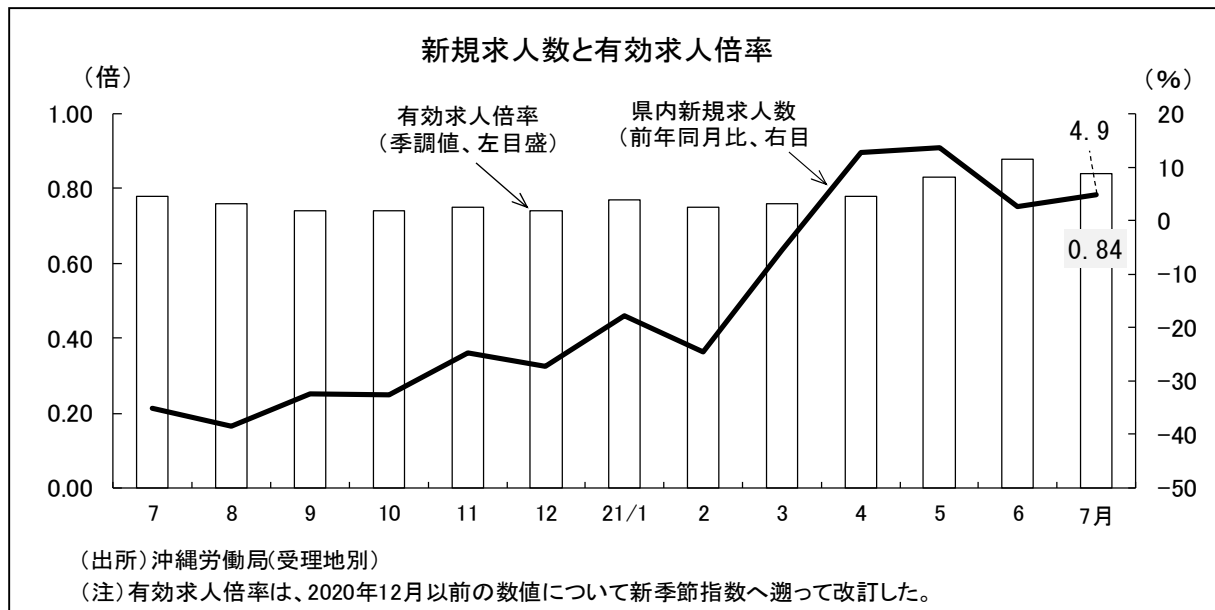
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は3カ月ぶりに増加、売上高は2カ月ぶりに増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 27.8%増と 3 カ月ぶりに前年を上回った。県内容は 3 カ月ぶりに前年を上回り、県外客は 2 カ月ぶりに前年を上回った。売上高は同 20.6%増と 2 カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 緊急事態宣言下で県外客は少ないものの、県内客向けの優待策実施により集客が得られた。
- ・ 新型コロナ以前の 2019 年と比較すると、入場者数は 2.9%増加(県内客は増加、県外客は減少)、売上高は 17.5%の減少となった。

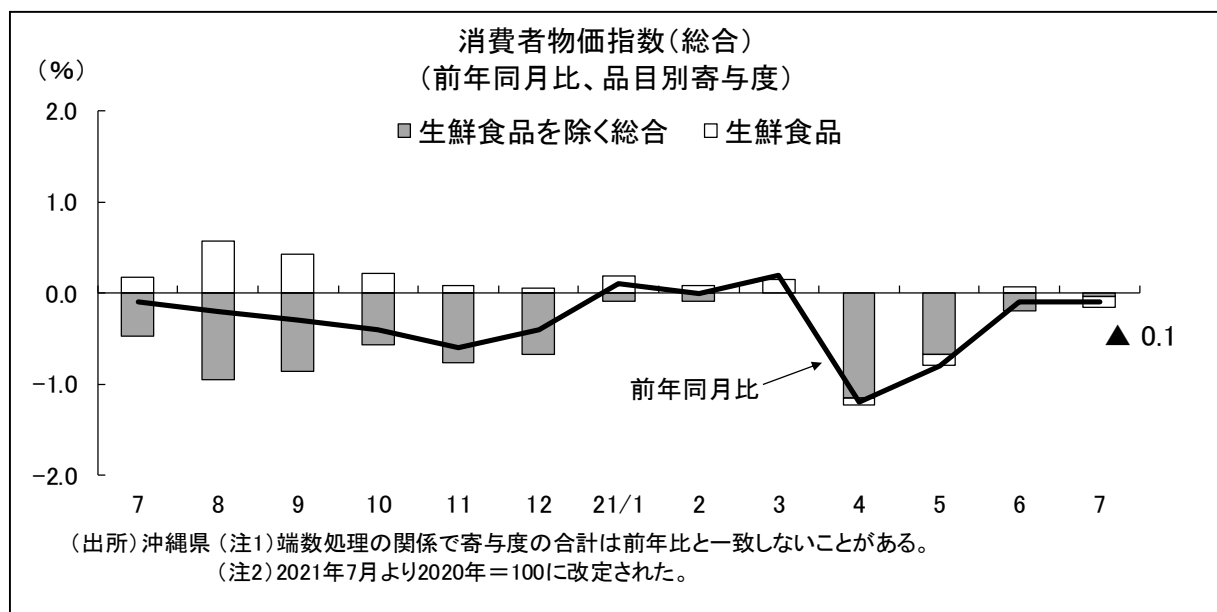
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は下落



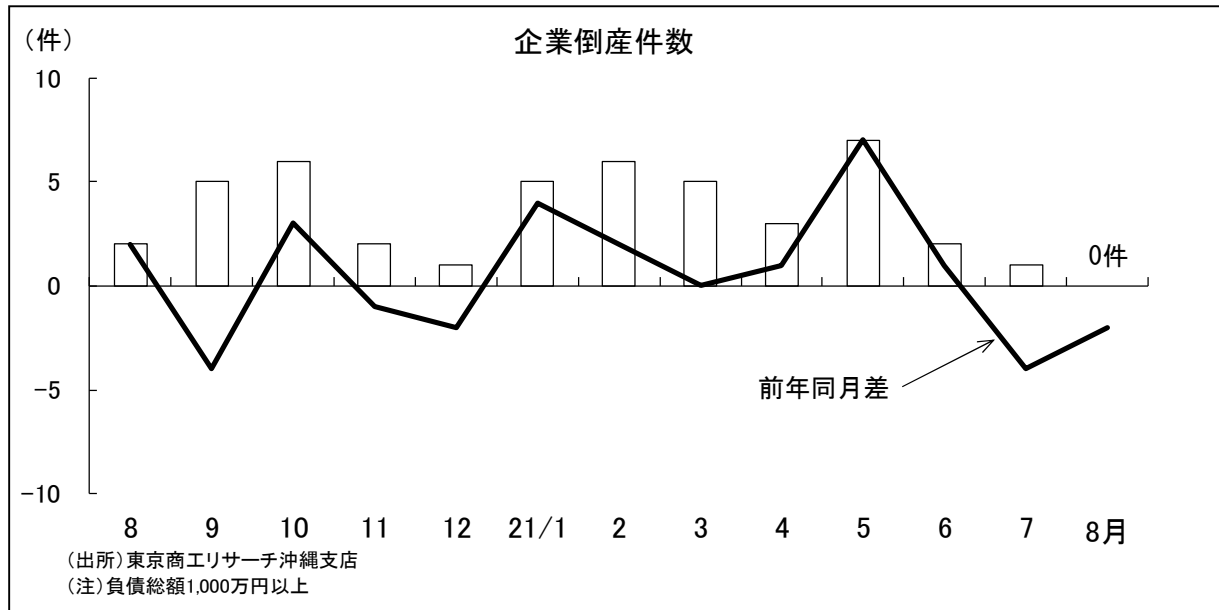
- 新規求人数（7月）は、前年同月比 4.9%増となり4カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業や製造業などで増加した。有効求人倍率（7月、季調値）は0.84倍と、前月より0.04ポイント下落した。
- 労働力人口（7月）は、75万2,000人で同0.4%増となり、就業者数は、72万人で同0.7%減となった。完全失業者数（7月）は3万2,000人で同33.3%増となり、完全失業率（7月、季調値）は4.5%と、前月より0.8%ポイント悪化した。

(2) 消費者物価指数（再掲）：4カ月連続で下落



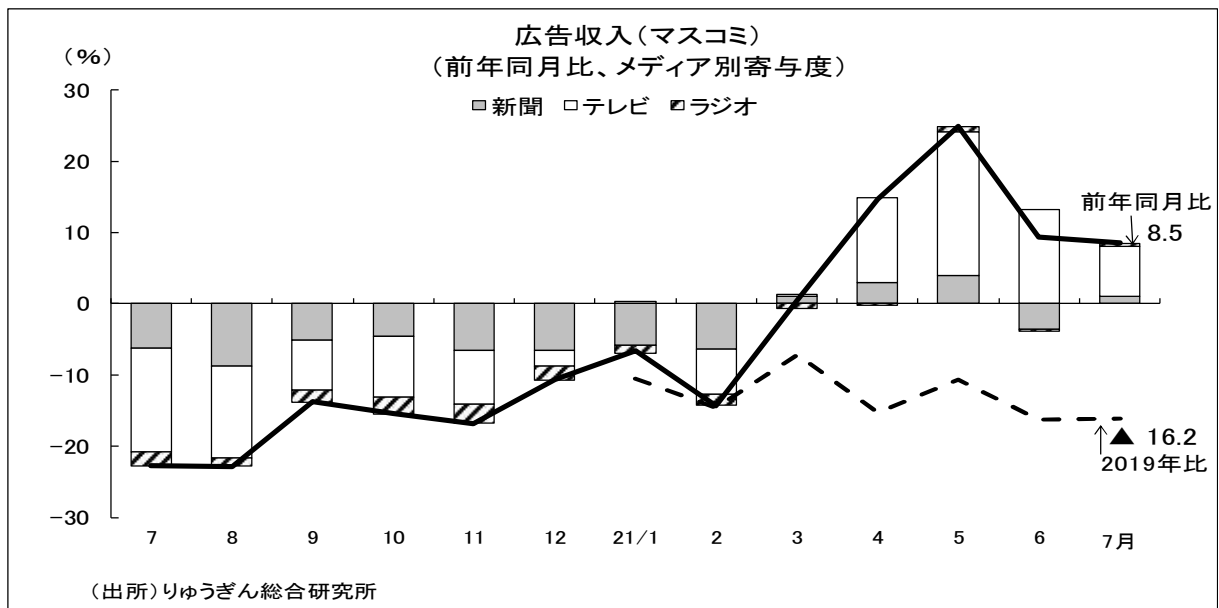
- 消費者物価指数（7月）は、前年同月比 0.1%減と4カ月連続で前年を下回った。生鮮食品を除く総合は前年と同水準となった。
- 品目別の動きをみると、光熱・水道などは上昇し、交通・通信などは下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに減少



- ・ 倒産件数は、1975年の集計開始以来4度目の発生なしとなり、前年同月を2件下回った。
- ・ 負債総額は前年同月が1億8,200万円で、全減となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：5カ月連続で増加



- ・ 広告収入（マスコミ：7月）は、前年同月比8.5%増と5カ月連続で前年を上回った。
- ・ 2020年3月から新型コロナウイルス感染症によるイベントなどの中止を受けて、広告収入の減少が続いていた反動で増加した。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較すると、16.2%の減少となった。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	電気製品 卸売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2018	1.9	▲ 0.6	1.7	▲ 4.5	5.9	▲ 0.7	346,669	▲ 1.3	2,293	1.9
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	11.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	▲ 2.8	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
2020 7	▲ 27.9	1.7	2.6	0.8	▲ 18.7	7.1	44,577	▲ 14.1	126	▲ 49.3
8	▲ 42.7	▲ 0.3	2.0	▲ 12.4	▲ 14.9	3.7	30,333	0.3	147	▲ 20.4
9	▲ 44.0	▲ 7.5	▲ 5.6	▲ 15.0	▲ 11.4	▲ 4.3	32,749	0.7	99	▲ 49.2
10	▲ 23.0	1.5	3.6	▲ 2.7	23.1	2.7	26,886	0.7	140	▲ 14.7
11	▲ 27.0	2.6	4.7	▲ 9.7	3.3	4.8	18,076	▲ 12.0	113	▲ 17.0
12	▲ 19.3	0.6	2.4	0.8	▲ 0.2	9.4	17,672	▲ 21.9	84	▲ 38.6
2021 1	▲ 37.7	2.0	4.1	16.1	4.9	3.2	16,342	7.9	121	43.5
2	▲ 22.6	▲ 2.0	0.1	▲ 6.1	▲ 15.6	6.6	15,448	5.8	121	6.5
3	▲ 3.5	▲ 2.3	▲ 0.4	▲ 2.9	1.0	5.4	34,094	▲ 4.5	203	15.9
4	113.0	▲ 2.3	▲ 0.3	▲ 23.1	▲ 9.5	14.6	28,352	21.3	146	▲ 16.8
5	56.4	▲ 1.2	0.8	7.7	30.4	22.4	28,056	47.3	87	▲ 36.1
6	▲ 34.3	▲ 5.7	▲ 3.8	▲ 18.8	▲ 11.7	2.3	21,608	▲ 27.9	122	▲ 24.5
7	▲ 20.8	▲ 1.2	0.7	▲ 14.6	▲ 9.1	▲ 15.0	44,439	▲ 0.3	129	2.2
8	▲ 13.7	▲ 4.1	▲ 3.8	▲ 16.8	▲ 10.5	1.5	35,562	17.2	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2018	16,803	1.3	9.3	▲ 1.8	▲ 4.2	2.7	10.6	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 2.4
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 11.9	0.3	1.4	4.0	7.2	0.8	▲ 0.9	▲ 2.2
2020	10,703	▲ 29.1	3.1	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 71.6	▲ 7.6	▲ 15.7
2020 7	896	▲ 36.9	159.2	▲ 6.1	▲ 16.0	▲ 11.4	▲ 17.7	▲ 76.1	7.7	▲ 22.7
8	993	▲ 41.0	▲ 23.7	▲ 7.6	▲ 12.5	▲ 14.0	▲ 11.7	▲ 94.5	▲ 19.4	▲ 22.8
9	600	▲ 63.4	▲ 30.7	▲ 13.3	▲ 13.2	▲ 25.6	▲ 25.1	▲ 78.9	3.3	▲ 13.8
10	985	▲ 20.9	202.4	▲ 13.7	▲ 10.9	▲ 1.9	▲ 0.6	▲ 71.1	5.4	▲ 15.5
11	862	▲ 23.7	35.0	▲ 14.9	▲ 10.3	▲ 13.9	▲ 15.1	▲ 60.9	5.9	▲ 16.8
12	804	▲ 35.4	94.3	▲ 14.6	▲ 9.3	▲ 12.7	▲ 3.1	▲ 67.3	0.4	▲ 10.7
2021 1	798	19.1	186.3	▲ 11.7	▲ 12.0	▲ 11.5	▲ 11.7	▲ 80.4	▲ 18.2	▲ 6.7
2	751	▲ 15.0	▲ 107.4	▲ 21.7	▲ 25.1	▲ 23.5	▲ 7.4	▲ 76.0	▲ 21.4	▲ 14.2
3	731	▲ 33.2	▲ 54.9	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 4.5	▲ 8.4	4.2	11.0	0.6
4	913	▲ 19.1	▲ 61.9	▲ 12.9	▲ 29.5	▲ 19.9	▲ 5.4	302.8	84.9	14.7
5	744	▲ 27.0	27.0	▲ 7.8	▲ 18.2	▲ 7.8	16.0	4,754.3	78.4	24.9
6	761	▲ 0.8	▲ 5.6	▲ 33.6	▲ 36.8	▲ 11.7	0.8	▲ 71.8	▲ 1.6	9.4
7	901	0.6	▲ 3.6	▲ 33.2	▲ 27.6	▲ 17.1	2.0	▲ 72.6	▲ 13.6	8.5
8	-	-	P8.9	▲ 19.5	▲ 21.0	P▲ 10.1	6.2	▲ 53.6	27.8	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		鉱工業生産指数 (季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2018	9,847.7	4.8	2,903.8	14.2	80.5	71.9	▲ 0.3	▲ 2.3	90.0	▲ 2.6
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	80.9	69.7	▲ 2.2	▲ 3.4	87.1	▲ 3.2
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.7	31.4	▲ 60.1	▲ 59.5	-	-
2020 7	277.3	▲ 71.2	0.0	▲ 100.0	24.0	29.1	▲ 75.9	▲ 68.1	79.7	▲ 15.3
8	202.8	▲ 80.1	0.0	▲ 100.0	19.1	19.7	▲ 81.6	▲ 77.4	76.1	▲ 13.3
9	227.6	▲ 71.9	0.0	▲ 100.0	18.7	27.7	▲ 77.2	▲ 56.4	70.9	▲ 17.0
10	341.2	▲ 59.9	0.0	▲ 100.0	32.7	43.8	▲ 68.0	▲ 37.2	72.1	▲ 16.3
11	381.1	▲ 52.3	0.0	▲ 100.0	44.2	48.0	▲ 63.7	▲ 19.7	75.6	▲ 10.9
12	326.2	▲ 56.8	0.0	▲ 100.0	38.8	36.6	▲ 63.8	▲ 38.4	72.1	▲ 7.5
2021 1	144.0	▲ 80.2	0.0	▲ 100.0	13.7	12.4	▲ 82.5	▲ 76.8	77.2	▲ 7.9
2	118.8	▲ 79.9	0.0	▲ 100.0	18.3	13.1	▲ 77.8	▲ 81.3	81.2	▲ 18.9
3	299.2	▲ 24.5	0.0	▲ 100.0	24.4	22.1	▲ 33.7	▲ 9.2	94.4	▲ 14.8
4	262.6	239.7	0.0	0.0	21.4	22.3	118.6	338.8	81.1	▲ 10.8
5	195.2	343.6	0.0	0.0	16.8	17.4	526.4	2,358.3	72.2	10.2
6	162.9	13.0	0.0	0.0	15.0	11.3	3.9	78.4	68.2	▲ 7.9
7	250.4	▲ 9.7	0.0	0.0	22.2	20.4	▲ 30.4	▲ 25.5	68.5	▲ 9.8
8	288.2	42.1	0.0	0.0	P21.2	P22.4	P▲ 25.5	P3.7	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2019年8月より調査先が25ホテルから28ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年＝100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新規 求人数 (県内)	通関 輸出	通関 輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2018	44	12,416	99.5	0.9	3.4	2.3	1.31	3.6	28,543	175,452
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.34	3.3	31,126	148,698
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
2020 7	5	862	353.7	▲ 0.3	3.4	▲ 1.0	0.78	▲ 35.0	1,636	12,050
8	2	182	100.0	▲ 0.4	3.4	0.4	0.76	▲ 38.5	2,196	12,342
9	5	84	▲ 92.0	▲ 0.6	3.3	0.6	0.74	▲ 32.3	1,212	8,390
10	6	360	318.6	▲ 0.4	3.6	▲ 1.6	0.74	▲ 32.5	2,917	7,088
11	2	87	▲ 86.8	▲ 0.7	3.3	0.5	0.75	▲ 24.8	1,471	6,368
12	1	88	▲ 72.3	▲ 0.7	3.9	0.4	0.74	▲ 27.3	1,025	9,511
2021 1	5	312	940.0	0.0	3.9	▲ 0.9	0.77	▲ 17.7	1,516	6,543
2	6	454	▲ 14.3	▲ 0.1	3.7	▲ 1.2	0.75	▲ 24.5	1,338	7,295
3	5	5,753	541.4	0.3	4.4	▲ 1.2	0.76	▲ 5.5	4,472	7,239
4	3	37	23.3	▲ 0.4	3.9	2.9	0.78	12.7	16,931	7,333
5	7	1,359	100.0	▲ 0.2	3.4	0.8	0.83	13.6	1,879	9,946
6	2	337	▲ 31.2	0.5	3.7	0.0	0.88	2.5	1,823	7,891
7	1	154	▲ 82.1	▲ 0.1	4.5	▲ 0.7	0.84	4.9	1,327	11,308
8	0	0	▲ 100.0	-	-	-	-	-	1,720	23,380
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関	

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2020年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の金融統計

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
年度	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2018FY	2,511	4,092	▲ 1,582	1.506	201	▲ 4.7	3,599	▲ 2.1	24	0.007
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2020FY	3,019	2,812	207	1.399	165	▲ 13.1	3,016	▲ 10.8	7	0.002
2020 7	212	271	▲ 58	1.419	15	▲ 19.9	284	▲ 16.8	0	0.000
8	202	203	▲ 1	1.412	14	▲ 4.2	260	7.8	0	0.000
9	201	237	▲ 35	1.410	13	▲ 23.0	234	▲ 21.2	0	0.000
10	203	315	▲ 112	1.406	13	▲ 18.1	211	▲ 20.5	1	0.007
11	250	243	6	1.404	14	5.0	269	28.1	0	0.000
12	486	179	306	1.399	13	▲ 19.8	218	▲ 24.5	0	0.000
2021 1	77	380	▲ 303	1.396	12	▲ 25.8	212	▲ 27.0	3	0.012
2	189	190	▲ 1	1.389	12	▲ 11.0	216	0.7	0	0.000
3	198	269	▲ 70	1.386	16	▲ 8.0	299	▲ 5.3	0	0.000
4	316	180	136	1.385	14	▲ 7.2	251	▲ 13.6	3	0.012
5	130	284	▲ 154	1.374	13	5.2	242	8.7	0	0.000
6	233	239	▲ 6	1.371	14	▲ 17.3	257	▲ 14.5	0	0.000
7	245	200	45	1.369	12	▲ 20.3	199	▲ 29.9	0	0.000
8	-	-	-	-	14	0.9	281	7.7	0	0.000
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
年度	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2018FY	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2020FY	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
2020 7	54,155	9.1	39,788	3.9	54,653	9.2	9,966	18.0	2,025	74.6
8	54,764	9.4	39,955	4.1	55,252	9.5	10,084	19.3	2,211	90.4
9	54,537	9.2	40,043	3.9	55,062	9.4	10,166	21.1	2,362	102.1
10	54,812	10.2	40,029	4.0	55,367	10.4	10,228	22.1	2,452	108.6
11	55,404	10.3	40,106	4.0	55,939	10.5	10,266	22.8	2,516	114.5
12	55,474	10.7	40,259	3.9	56,097	11.1	10,392	22.8	2,606	120.8
2021 1	55,315	11.7	40,323	3.9	55,933	12.0	10,378	22.7	2,677	126.6
2	55,647	11.7	40,652	4.4	56,271	12.1	10,387	22.9	2,720	130.0
3	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
4	57,066	10.6	40,714	4.2	57,685	10.9	10,326	16.3	2,958	119.2
5	57,305	8.6	40,752	3.5	57,922	8.9	10,327	11.4	2,981	100.3
6	57,507	6.1	40,754	3.0	58,131	6.4	10,378	6.8	2,988	67.6
7	57,281	5.8	40,763	2.5	57,962	6.1	10,422	4.6	2,993	47.8
8	57,394	4.8	40,751	2.0	-	-	10,419	3.3	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。